



明けておめでとうございます
羽咋市長 岸 博一



羽咋市長 岸 博一

新年のあいさつ

明けましておめでとうございます。
能登半島地震の発生から1年が経過し、その際、藤岡市の皆さまには一早くご支援をいただき、改めて感謝申し上げます。現在、復旧・復興を最優先とし、未来につながるまちづくりに取り組んでいるところです。
昨年、貴市におかれましては、市制70周年という記念すべき年を迎えられ、これまで重ねてこられた市勢発展の歴史は私にとっても大いに学びになるものでした。また、NPO法人はな街道を通じた花植栽交流事業に当市も初めて参加し、震災復興PRなどを行い、より一層の交流が深まった年でもありました。
結びに、藤岡市のますますのご発展と、藤岡市民の皆さまのご健勝とご多幸を祈念し、新年のあいさつといたします。

ふじおか Culture

～藤岡の文化を探る～

【問い合わせ 文化財保護課 (☎235997)】

No.106

名誉教頭 大森順造

～高山社蚕業学校草創期を支えた教育者～

高山社蚕業学校開校にあたっての功績の一つと言えるのが、業界のエースともいべき大森順造の招致です。東京帝国大学農科大学生時代から活発な活動をし、明治29年の大学院進学後には長野県での蚕微粒子毒の研究に参加、前橋市での連続講義という活動歴を残しています。34年正月の高山武十郎に宛てた年賀状(右写真)には「大日本蚕業研究会会長」とあり、既に活動を行っていたことがうかがえます。

高山社蚕業学校名誉教頭就任時には既に名高い研究者で、翌年9月に農学博士号を取得しています。35年1月には群馬県農会依頼による講演と翌年の講演記録発刊、専門的な旧著をかみ砕いた「蚕病学講義」の刊行などを行いました。36年には盛岡高等農林学校の教授も兼任し、翌年4月に高山社蚕業学校名誉教頭を退任、講師となり、39年2月には講師も退きました。通算5年弱の在籍でした。

その後は欧州留学を経て上田蚕糸専門学校(長野県上田市)教授を務め、大正5年4月には離任しました。前年4月に帝国蚕業研究会を組織し、千葉県五井町(現・市原市)に蚕業研究所を設置しました。研究所の設置後は、養蚕現場にいかに関与的な知見を有効に行き渡らせて実をあげることに取り組んだ実践家として記録され、優良蚕種の製造販売や外国蚕種の輸入販売にも取り組みました。

確認できた最後の著書である「通俗実験合理的有利育蚕法の原理並に応用」は大正13年に出版され、その表題から志が見て取れます。昭和19年3月に死去し、享年76歳でした。



教えて! 消費生活

オンラインゲーム課金トラブル

Q 小学生の息子に私の古いスマートフォンを自宅のWi-Fiにつなげて使用させていた。課金するには私の指紋認証が必要な設定にしていたが、アカウントにログインした状態だったため、息子が自分の指紋を追加登録しアカウントに登録していたクレジットカードで、ゲームに約10万円課金してしまった。返金してほしい。

A 保護者の知らないうちに子どもが自分の指紋認証を追加したり、パスワードを変更して課金をしてしまうことがあります。
保護者の同意がない未成年者契約は民法上取り消せますが、保護者アカウントでログインした端末機器で課金した場合、アカウント所有者である保護者が決済を行ったと見なされ、取り消されない(返金されない)場合があります。
フィルタリングの利用や、端末・アプリの利用時間に関する家庭内のルール作りといったペアレンタルコントロールを行うことで、子どもが安心・安全にスマートフォンを利用できるようにしましょう。また、保護者のアカウントに決済完了メールが届くように設定し、料金明細などを日頃からチェックしましょう。

【消費生活の相談は市消費生活センター ☎fax 兼用 201133 (来庁相談要予約) 相談時間 平日午前9時～午後4時】

ふじおか 防災トピックス

Fujioka Disaster Prevention Topics

災害時に自分や大切な家族を守るのは知識と備えです。「ふじおか防災トピックス」では、知っておきたい災害の知識やもしもの時にやるべき事など、いざというときに役立つ防災情報をお知らせしていきます。

大雪に備えよう!

【問い合わせ 地域安全課 (☎27444)】

冬季に入り一層冷え込む季節がやってきました。大雪時の事故の多くは除雪作業中に発生し、原因は屋根やはしごからの転落によるものとされています。また、死亡事故は65歳以上の高齢者に多く見られます。こうした事故を未然に防ぐため、大雪時は下記に注意してください。

なるべく外出を控えましょう

降雪時や降雪後は道が大変滑りやすく危険です。

- ▷ 普段から食料の備蓄をしておくなど、外出する機会を減らし、事故を未然に防ぎましょう
- ▷ 外出する際は、滑りにくい長靴などを履いて足元に十分注意しましょう。また、自転車や自動車には乗らないようにしましょう

除雪作業は2人以上で行いましょう

1人で除雪作業を行うと、事故が発生したときに発見が遅れ、重大事故につながりやすくなります。

- ▷ 事故などに備えて2人以上で声をかけ合いながら作業しましょう
- ▷ やむを得ず1人で作業する場合は家族や隣人に声をかけるなどしてから作業しましょう
- ▷ 携帯電話などの連絡ができる端末を所持して作業しましょう

※除雪に必要なスコップなどの備品は、大雪の際にホームセンターで購入する人が多いため、備品の在庫切れや外出の危険性を考慮し、事前に購入しておきましょう

